



おもいやり
橋本長平がハナ-



ロータリーは分かちあいの心
ウィルブッドJ. ウィルキンソンRI会長

2007-2008 年度
クラブスローガン
善意の輪を広げ
全員参加で奉仕活動を!

会長 前田 章 幹事 野尻 昇
創立 昭和 53 年 3 月 21 日 承認 昭和 53 年 4 月 6 日
http://www.maruoka-rotary.com/ (No.14497)

今回例会 第 1451 回
平成19年11月 13日(火)
山中RCと合同例会

次回例会 第 1452 回
平成19年11月 21日(水)
移動例会 「いねず」にて 外部卓話 三国税務署長



今日のロータリーソング
『 奉仕の理想 』



前田会長 挨拶 (11/7)

ロータリーの言葉

【 奉仕の理想 】

ロータリーの綱領の中にあるIdeal of Service直訳後で、ロータリーでよく用いられる言葉。己に天職という使命を与えてくれた社会、また己の職業を生かし続けさせてもらっている社会に感謝する時、その仕方(奉仕)の基本として個人生活、社会生活、職業生活の於いて利己的欲求は最小限にとどめ、常に最大利他の究極を求め続けていこうとするロータリーの奉仕哲学である。



下田幹事 報告

※ ワイヤロック贈呈式 11月22日(木) 14:30~春江中学校
11月27日(火) 16:00~坂井中学校

12月プログラム

5日	外部卓話	日興コーディアル証券 支店長
12日	地区財団補助金会	大塚委員長
19日	外部卓話	21世紀職業財団 所長
23日	クリスマス家族会	親睦委員会

※ 30周年記念式典実行委員長 林田千之会員

第1450回例会 委員会報告 (11月7日現在)

【出席委員会】

会員数	出席	欠席届有	欠席届無	メイクアップ	出席率%
35	25	8	1	1	74.28

【ロータリー財団特別寄付】(ABC順・敬称略)

北・小見山・前田・中田・奥村・下田・下村・高尾
(本日13,000円 本年度累計236,000円)

【米山記念奨学会】(ABC順・敬称略)

川端・北・小見山・桑野・前田・前川・中田・奥村・下田・下村・高尾
(本日15,000円本年度累計252,000円)

【ニコニコ箱】・・・(ABC順・敬称略)

前田・・・桑野さん本日は卓話ありがとうございます。
結婚記念日を祝って頂いてありがとうございます。
下田・・・桑野様 卓話ありがとうございます。
林田(千)・桑野さん卓話よろしく楽しみにしています。
石橋・・・結婚記念日を自祝
川端・・・結婚記念日を自祝
倉本・・・桑野様卓話ご苦勞様です。張り切ってください！
桑野・・・本日は初めての卓話です。よろしく願います。
水上・・・桑野さん卓話ご苦勞様です。
下村・・・桑野さん卓話ご苦勞様です。妻の誕生日を自祝して
高尾・・・新世代委員会の行事に対するご協力に感謝して。
高嶋・・・桑野さん卓話ご苦勞様です。
竹内・・・桑野さん卓話ご苦勞様です。 早退させていただきます。
竹澤・・・誕生日を自祝
山下・・・中日ドラゴンズ 53年ぶりの日本一を祝して。
横山・・・結婚記念日を自祝

ビシター受付のみ
11/16(金) 鯖江 RC
11/20(火) 武生 RC

ニコニコ箱→	本日の合計	本日迄の累計	前年度との比較
	35,000円	622,000円	682,001円

11月祝事



県内クラブ
例会日

月曜日
福井東 福井厚生年金
敦賀西 サンピア 敦賀
PM7:00 点鐘

火曜日
福井南 織協ビル8F
勝山 市民活動センター
武生 武生商工会館
若狭 小浜商工会議所
福井フェニックス ワシントンホテル
PM6:30 点鐘

水曜日
福井北 ワシントンホテル
敦賀 北陸銀行敦賀支店
鯖江北 神明公民館
丸岡 JA花咲ふくい
丸岡支店

木曜日
福井 ユアーズホテル
武生府中 JA 越前たけふ
福井水仙 神明神社
PM6:30 点鐘

金曜日
福井西 グラントリア
三国 三国観光ホテル
大野 リブレ 4F
鯖江 鯖江商工会館
あじさい リバー・ジュアボ

私の恥かしい人生

桑野賢吾会員

先日、三国でのIMの懇親会の席上、一連の行事も終了し、程好く酔いも廻ってきた頃藤本さんが来られて「7日に卓話をしてくれ」という言葉に激震が走りしました。以来本日までの18日間、生きた心地無く、のんびりと心の準備をしておりましてところどころ21日間も早めてくれとのご依頼でした。当クラブ入会の折、1時間に亘ってガイダンスをいただいた他ならぬ藤本さんからの一言にお断りする勇気も無く、本日を迎えてしまった次第です。従って、準備の時間も無く格調高い卓話をとっていました、どうか諸事情につきご賢察を賜りまして、赤裸々な自分を語ることで貴重な時間を潰す事になります、どうかお許しを賜りたいと思います。



私は昭和20年8月7日に福井市高木町で出生しました。昭和20年という終戦の年で8月6日に広島原爆投下、8月7日は私の出生、8月9日は長崎原爆、そして8月15日終戦とまさに日本の一大事のどさくさの間に誕生しました。このように重大な局面で私を出生させた両親は非国民と云おうか、基本を忠実にと云おうか、まさにやるべき事をキッチリとやった訳で、恥かしくも、素晴らしい両親であったらと思うのです。「あったら」と申しましたのは、私は出生4ヶ月で養子に出されよう、この年になって思うと、4ヶ月の幼子を養子に出す両親の決断とその思いはいかばかりであったらと思うのですが、私は桑野家に貰われて来た訳です。

桑野家は母の里、実家で、養父は母の弟に当たります。ずっと後になって知ったことですが、私には4人の兄と4人の姉があり私は9番目の子の子です。養父母には実子が無く私を実子同然に育ててくれました。家業として機業（ハタバ）を営んでおり、ドレープやビロードを織っており、私が小学6年生の頃から傾きだし、中学3年生の時に倒産してしまいました。私を生んだ両親の白崎家からは多額の借金もあり、この間、両家は裁判沙汰にまでなり、以来私の生家の白崎家とは絶縁状態です。

私が中学3年の夏の頃には桑野家は差し押さえを受け、いつ競売になるかビクビクした毎日で父が中学校に電話してきて「今日は大丈夫だったから心配要らない」と伝言があったりして、先生から「いいお父さんだネ」と云われたりもしておりました。父は自殺未遂を2回も起しました。3ヶ月程して親戚に借金を肩代りしてくれる人が現れ、どうにか生き残ったような訳でした。

早く卒業して職に就くことばかりを考えていたところ、高校だけは出ておくと云ってくれる親戚が有り、職業系ならという事で福井工業高校の機械科へ進学できました。

高校時代の3年間はそれなりに楽しく過ごせましたが、旋盤を使ったり鍛造や溶接等の実習には閉口しました。「自分には合わない」と常々感じており、卒業したら自分には合わない製造関係の企業へ就職ではなく、もっと自分の適性を広く考えたいと思い、大学進学を申し出ました。

県内の大学で一切の経済的支援無しで認めてくれ、福井大学の学芸学部の進学を決め、約2ヶ月半の猛勉強で入学を許されました。

これについてはエピソードがあります。数学の問題は5問有ったのを見ただけで全く歯が立ちません。少し問題が理解できそうなのが第1問でした。従って第1問以外の残り4問は全く捨てて第1問に集中して2時間掛けて取り組みました。対数（ログリズム）の二次関数の問題でしたが1時間半取り組んでも出来ません。「もう、これで就職に決まりだ」と思っあきらめかけた時、突然のヒラメキがありスルスルと解け出しました。入学当初のガイダンスで教務課の課長さんが「入学された皆さんの中に数学0点でも入学できた人が沢山いる。心当たり有ると思うが、こんな事は初めてです。」と云われたのを聞いた時には、心の中で喝采を叫びました。数学のあの1問だけで入学出来たのは間違いのないところです。こうして入学した大学でしたが3年になって小学課程でしたので、教科研究は家庭科ではジャガイモの皮を剥いたり、音楽課程ではタテ笛を吹いたりしている現実が嫌気がさしてきていました。時間が有ればアルバイトに精を出していた訳ですが、家庭教師も3つ持っておりまして。そのうちの1つが運命の出会ひとなった今の女房です。

彼女が高校1年生から卒業までの3年間は全く健全そのものでした。が、彼女が短大入学半年後にして双方が燃え上がってしまい、両方の親に結婚を迫りましたが大反対されて、このままでは別れさせられると必死に思い、名古屋に駆け落ちをしてしまいました。住まいも何も無い状態ですから、瑞穂区の鉄工所に住み込みました。

ここでの1年間は苦しい思いをしました。勢いで飛び込んでみたものの、実社会はそれは厳しいものでした。しかし、二人の生活は今思うと南こうせつの「神田川」のような甘くも切ないものであったと気がします。

一年が過ぎて二人の居所が発見され、福井へ連れ戻されて晴れて結婚を許された次第です。大学へ戻る気もないので、仕事を探さなければなりません。新聞に「福井情報処理センター」の募集広告が載り、探偵事務所か何かと思ったのですが、三谷グループ企業との事で応募しました。筆記試験、適正試験と38人も応募者がいたのですっかりあきらめ気分でした。面接者はオーナーの三谷宏治社長と、後に三谷商事の社長にもなられた野坂伊八常務でした。全くのラッキーで、私だけがたった一人入社を許されました。福井情報処理センターはコンピューター処理会社でした。私は背広を着たのと机を一つ与えられたのが最高の喜びでした。このような恵まれた環境の中で頑張らない訳がありません。

当時は新会社を立ち上げたばかりで60人の新人ばかりの若い会社でした。メーカーからの細々とした下請けの仕事しかなくメーカーに頼らず直接受注により一人立ちしなくてはなりません。当時のコンピューターはまだハシリの時期で県内でも一部大手企業と県庁以外は全く理解されていない市場でした。とにかく仕事を取って来いとの大命題を与えられた私は一番近くて縁の深い名古屋へ出向きました。

感激と若さで意地も有った私は飛び込みを敢行し、試用錯誤の中で粘り強く恥をかき捨て、飛び込みを続ける内、1ヶ月経った頃たった1社が心を動かしてくれました。「ユニーほていや」の名古屋本部の管理本部長が5回目訪問の私に向けて「一度君の会社を見たいから案内してくれ」といわれ条件付で受注に成功しました。条件とは、私が直接にデータを受取り納品するというものでした。大事なデータなので運送会社への委託は困ると。おかげで週1回、名古屋へ車で出掛けさらなる飛び込み営業も続けられ、以後、日本碍子・ブラザー工業・日本特殊陶業と順次顧客獲得につながりました。県内の営業も時間も掛かりましたが大手企業を中心に受注もすすみ、気がついたら組織の中で30人を抱えるチーム長になっておりました。

こんな時、我家に於いて嫁姑戦争が勃発したのです。都会での営業に自信を深めていた私は、東京事務所設立の企画書を書き上げ稟議を通しました。

東京での4年間は長くなるので省きますが、たった一人で立ち上げた東京事務所でしたが、今は40名を抱える東京支店となっております。苦勞もし楽しくも有り、あつという間の三谷コンピュータでの会社人生でしたが昭和61年41歳の時ですが当時私はNO3の部長の地位に居りましたが、もう一人の部長の職場不倫をめぐって専務と衝突し不信感が頂点に達し退職を申し出ました。詳細に話し出すと面白い話なのですが長くなるので割愛します。慰留されましたが、私の根性曲がりは一且出したものは何と云われ様と押し通す姿勢を貫きました。

ある時、当時創立されたばかりの北陸事務機（三谷商事とセキサン工業、富士ゼロックスの出資会社、後の福井ゼロックス）への転籍の話が出て、当時三谷商事社長であった野坂伊八社長と北陸事務機の渡辺社長との話し合いによるもので、北陸事務機へは営業本部長として転籍し、18年のあいだ色々な苦勞と楽しみを味わう事が出来ました。会社創立3年で累積赤字を一掃し現在まで16年間15%の配当を欠かさず続けております。私もお陰様で常務、専務へと昇進させて頂き3年間の社長も経験しました。

丁度4年半前の4月18日オーナーの三谷会長に呼ばれ社長を下りて監査役に付くよう申し渡され、当に「鶴の一声」でした。業績については当時上場企業の70%が赤字決算の時代であり、増収増益とはいきませんでした。売上高は横バイ又は微増で対前年成長率で2ケタの増益は果たしておりました。自分なりにこれまで生きてきて、数多くの挫折の中で、多少なりと人の痛みも解るようになり“潔さ良さ”と“ネバーギブアップ”の信条が身に付きつつあった時でした。

ともかく、創立2年目の丸岡春江タウンテレコム（今のさかいケーブルテレビ）の社長を命ぜられました。但し翌日には再度呼びつけられて「社長ではなくて副社長で行ってくれ」と申し渡され現在に至っている次第であります。

長々と語って参りましたが自分の人生を語ったのは初めてであります。恥ずかしながら、生き様を語らせてくださったこの場に感謝申し上げます。ご静聴ありがとうございました。



事務局 〒910-0254 Te1 (0776) 67-0410 fax (0776) 67-4811 クラブ広報委員長 林田恒正
 福井県坂井市丸岡町一本田 34-7 JA 花咲ふくい 丸岡支店 2F 会報委員長 川端克治
 例会場 JA 花咲ふくい 丸岡支店 3F 委員 下田重道 金 定基
 例会日 毎週水曜日 12時30分 会員数 36名 山下健治 山田 栄